



中 高 聖

聖流

発行
石川県立大聖寺高校 同窓会
2018.7.13
同窓会会報 77号



吹奏楽部



弓道部・女子



女子サッカー部

輝け聖高生!



放送部



体操部・女子

詳細はQRコード

ご挨拶



大聖寺高等学校同窓会
会長 長岡 義明

盛夏の候 同窓の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。又、平素は同窓会活動にご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて前回の「聖流」でご承知とは思いますが昨年、東京聖高会と福井聖高会が散会となってしまいました。いずれも役員の高齢化と後を継ぐ若い同窓生の不足が原因であります。本部から手助けが出来なかつたことも、残念でなりません。このように、近年同窓会活動をつづけることが大変難しくなつて来ています。幸い本部は若い同窓生の参加が少しずつですが多くなりはじめ、総会などともにごやかに来まして来ました。

今年も八月十一日(土)に総会並びに懇親会を長生殿にて開催いたします。互いにお声掛けいただき、当会を盛り上げたいと願っています。

ここで皆様にお詫びがあります。昨年まで年2回発行してきました「聖流」が今年より年1回の発行となります。理由として近年の生徒数の減少に伴い収入も減少し、財政的に大変厳しい状況下にあると云うことです。

さらに一〇周年が二年後に迫り、その準備にも取りかからなければなりません。会報につきましては、ページ数増や内容をより充実させることで対応させていただきます。皆様のより一層のご支援を心よりお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

祝

平成30年度 入学式

4月9日(月)午後2時より、本校第2体育館にて入学式が行われました。同窓会からは長岡義明会長、萬谷守男顧問、竹田永一顧問、下口幸雄顧問が来賓として出席しました。

国歌斉唱、吹奏楽部による校歌の合唱に続き、新入生に向けて、中川素子校長から「失敗を恐れず、自分の良さや力を信じてのびのびとそれを発揮してください。また、周りの人も同じように力を発揮できるように、互いの良さを認め合い、支え合いますよ」との言葉が贈られ、PTA会長大家康孝氏からは「自主自立の精神を、本校で養われることを期待しています」との言葉をいただきました。

新入生代表として片山津中学校出身の濱本 茜さんの宣誓、在校生代表の山本 恵亮君の歓迎のことばが述べられ、閉会となりました。

今年3年目となります。特進クラス(名称スパークス)では、きめ細かい指導を行い、難関大学進学を目指す生徒の育成を行うことになっていきます。新入生160名には、初心を忘れず有意義な高校生活を送って欲しいと願います。

各中学校別入学者数は錦城26名、橋立3名、片山津16名、東和31名、山代15名、山中14名、南部19名、松陽11名、根上5名、御幸5名、芦城3名、丸内7名、安宅2名、寺井1名、国府1名、松東1名、星稜1名となっています。



聖高生の活躍

益々のご活躍をお祈りします。

全国・北信越大会での、

■平成30年度石川県高等学校総合体育大会

★体操競技

女子団体 優勝

中野 真琴(2) 齋藤わかば(1) 柴田 愛唯(1)
全国大会出場

女子個人総合 優勝 齋藤 わかば(1)

(跳馬・床・段違い平行棒優勝、平均台2位)
3位 中野 真琴(2)

★サッカー競技・女子 3位
(平均台優勝、段違い平行棒3位)

★陸上競技

■第71回石川県高等学校陸上競技対抗選手権大会

女子円盤投げ 5位 30M04
秋田 智菜(2)

北信越高等学校
陸上競技対抗
選手権大会出場



女子砲丸投げ 7位 9M28 秋田 智菜(2)
男子八種競技 8位 4142点 岡野 友樹(3)



男子バスケットボール部



女子バレーボール部



ソフトボール部

■平成30年度石川県高等学校総合文化祭 放送部門
(第65回NHK杯全国高校放送コンテスト石川県大会)

★放送部

朗読部門

優良賞 西谷 百加(3) 全国大会出場

番組制作部門

*ラジオドキュメント部門

優秀賞 「二人三脚 じよんがら節」

*テレビドキュメント部門
優秀賞 「千射万箭」

*創作ドラマ部門

優秀賞 「女子高校生生態観察シリーズ」

優良賞 「想虫記」

*研究発表部門

優秀賞 「下校放送システムの確立」

以上4部門で全国大会出場

■第79回石川県陸上競技選手権大会

男子5000m競歩 2位 24・07・89
上野 達輝(3)

★弓道競技

■平成30年度石川県高等学校春季弓道大会

女子個人の部 第3位 富永 佳乃(3)

吹奏楽部

第44回定期演奏会を開催

去る5月26日(土) 加賀市文化会館カモナホールにて、吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。25人の部員たちはすばらしい演奏のみならず、劇やダンスなどの素敵なパフォーマンスで600人の観客を魅了しました。また、会場で災害義援金を募り、寄せられた義援金を北陸中日新聞加賀通信局に寄託しました。



※尚、第100回全国高等学校野球選手権石川大会は、7月12日より行われます。

今回は、近年に大規模改修された教室棟を中心に案内していただき校長先生にお話を伺いました。

◆床・壁の張替えとLED照明への切り替え



生徒玄関の前の廊下は、全面掲示で沢山の情報が発信されます。掲示の中には、校長先生からのメッセージも、毎週更新されます。明るくてきれいな校内、LEDで省エネです。

◆トイレ洋式化

一般家庭でも洋式が進む中、教室棟のトイレはほとんどが洋式になりました。



1階には、障がいのある方や子ども連れの方も利用できる多目的トイレが設置されました。これからの学校は、災害時の避難場所として地域の拠点にもなっています。

◆教室窓が透明に

今まで廊下と教室の間の窓はすりガラスでしたが、透明ガラスになり廊下からも教室がよく見えるようになりました。



改修前:すりガラスの窓

改修後:透明ガラスの窓・LED

授業参観がしやすくなり、校長先生も時々校内を回っているいろいろな角度から授業を見ているそうです。透明ガラスは安全上の配慮でもあります。

◆アクティブ・ラーニング室(3F)



3階にアクティブ・ラーニング室という、今までにない新しいタイプの教室ができました。グループでの話し合いや発表がしやすい空間になっています。主体的な対話ができる授業の場として、利用が増えるといい部屋です。

◆職員室前の自習スペース



廊下の自習スペースは以前からあったそうですが、今回椅子と机が新調されました。試験前ともなると、質問に来る生徒や自習する生徒で満席になるそうです。

聖流の発刊について……

これまで大聖寺高校同窓会会報「聖流」は、同窓会費よりその経費をまかない年2回発刊してまいりました。しかしながら、同窓会費の収入の減少、郵送料の値上がりにより、年2回の発刊・発送は厳しい状況となりました。役員会・理事会で検討を重ねた結果、平成30年度以降年1回の発刊とさせていただきます。会費収入の減少について、もう少しご説明させていただきます。

現在同窓会の主な収入は、3年生が卒業時にお支払いいただく入会金と終身会費です。当校は長年1学年8クラスでしたが、少子化の影響で平成28年度卒業生6クラス、29度の卒業生、現2・3年生5クラス、現1年生にいたっては4クラスと学校の生徒数自体が減少しております。これに伴い会費収入の減少が免れず、発刊が年1回とせざるを得ない状況となりました。

その1回については、編集委員一同で発刊時期、ページ数増加等いろいろ知恵を出し合い、内容を今まで以上に濃いものとしたいと考えております。母校の様子、後輩たちの活躍ぶりなど、出来る限り皆様にお伝え出来るようにしてまいります。

次号、発刊時期等変更がございましたらホームページにてお知らせします。どうぞご理解下さいますようお願い申し上げます。

事業・会計報告は当会ホームページ上に掲載してございます。



平成30年度 大聖寺高校同窓会 総会・懇親会

8月11日(土)

総会 午後5時30分
懇親会 午後6時～

場所：長生殿(加賀温泉駅前)

会費 6,000円

準備の都合上参加申し込みは、7月30日までに事務局(下記)までお願いします。

TEL (0761) 73-2771

FAX (0761) 75-7117

E-mail:info@seiko-ob.org

皆様の多数のご参加を、お待ちしております。

●例年この時期に行っておりますので、学年同窓会・クラス会の打ち合わせに、ご利用されてはいかがでしょうか。

◆今年度の幹事の方々(敬称略)

今年度総会・懇親会は、左記の方々が中心に運営を行ないます。この方々より参加依頼がございましたら、ご協力のほどお願いします。

■主幹事 平成14年卒

谷中 紀夫 畝田 直美 曾谷 亮介 寺田 薫 奥野 勝康
三井悠記子 泉 裕也 木曾奈美子 島中 悠貴 松村沙弥佳
小餅谷宏人 茶谷由里子 松下 哲也 林 詩織 松下 昌史
宮下 惇子

■副幹事 平成15年卒

栗谷 亮平 西田しおり 石本 修之 田中 真紀 笹谷 史弥
田中 裕子 岩木 智幸 猫宮 祥子 牧 孝幸 升井 里香
山崎 将 下向 悠 道田 純平 鬼頭 美貴 大橋 自無
大工 翔子

■副幹事 平成16年卒

沖野未知也 竹村 麻美 藤岡 亮 井村 理恵 青柳 陽介
細川 詩織 向出 匠 塩口 舞 中村 秀平 桑原 麻有
松木 慎吾 山口 直子 吉田 悠馬 松本 弥生 佐竹 智樹
西山知江子

※お名前は、卒業時の名前でご表記しております。
※事前に連絡が取れなかった方が含まれています。いし承下やい。

平成29年度

総会・懇親会に参加して

平成15年卒 栗谷 亮平

私は今回の総会が二度目の参加で、副幹事として微力ながらお手伝いさせて頂きました。前回は4・5年前に年齢の近い先輩に誘っていただき参加しました。

しかしそれ以降、私自身も総会には参加していませんでした。参加していなかった率直な理由としては、自分と年齢の近い方がほとんど参加しておらず、総会に参加することへ非常に肩身の狭さを感じたからです。副幹事として参加した今回は、年齢の近い先輩が前回参加した時よりも数多く参加されており、私自身も非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

高校時代に話をすることができなかった先輩や、後輩にも懇親会に参加することで話をするのができ、自分自身のコミュニティーが広がったように思います。

近い将来、主幹事の年代になるため、年齢の近い方にはたくさん参加いただき、皆で聖高祭のような盛り上がる会になればと思います。

主幹事・副幹事を任されている年代の方は是非とも参加してみてください！

これからは私たちが言え、より多くの若い世代にも参加して頂き、この総会・懇親会を盛り上げていきたいと思っております。



昨年の懇親会より

同窓会たより

平成13年度卒業生 第1回同窓会に参加して

平成13年卒 土屋 海奈(旧姓 松村)

初めに同窓会開催の話を聞いたとき、年齢の節目や卒業後何年の節目でもないのに、どうして今年なのかな?と思いましたが、でも、せっかくなので、旧友に会えることを楽しみに参加させてもらいました。

当日までに、参加の呼びかけや会場の手配、ドレスコードに至るまで細かく連絡があり、幹事の皆様の努力が伺えました。参加の意思確認をする中で懐かしい人の名前を聞いた、ちよつとした写真から今の家族の様子などが垣間見えたりし、それだけでも十分嬉しく感じました。



平成29年12月30日、会場に入ると参加人数は結果的に多くなかったようで、実際に集まったのは30人くらいでしたが、会場内の同窓会基金で製作した「同窓会」という看板や、司会進行の様子、受付で配られた名簿などに、「同窓会だ!」という実感が湧き、ワクワクしました。

会が始まると、懐かしい旧友と仕事や家族の話に花が咲きました。特に印象に残っているのは、参加者の池田さんが、マイクパフォーマンスで皆を笑わせたり、即興のイベントを開いてくれたことです。高校時代から元気いっばいで、いつも人の中心にいるような人で、相変わらずの調子で、微笑ましく思えました。池田さんの尽力もあり、私自身も参加者も一層和み、楽しく過ごすことができました。高校時代には飲めなかつたお酒を酌み交わしたり、たくさん話すことで、みんなあの頃に戻ったような顔をしていました。

幹事の皆さんは、苦勞の多かったことと思います。本当にありがとうございました。でも、参加して本当によかったです。この気持ちができるだけたくさんの人に知ってもらうため、次回があればもっと声をかけてたくさんの人に参加してもらいたいと思います。

●同窓会開催基金として平成13年卒業同窓会参加者の方々より15,100円を寄付いただきました。ありがとうございました。

バスケットボール部「シユータイングの会」及び「創部90周年の催し」について

昭和61年卒 橋本 守

私は聖高バスケット部出身で社会人となつた今も、市協会員として普及発展に関わっております。協会には聖高出身者も多数在籍し、幾度か「シユータイングの会」の話題が出るようになりました。

この会は昭和30年（1955年）から毎年1月2日に、現役とOBが練習試合を催し、世代を越えた指導や交流親睦が図られておりましたが、近年途絶えておりました。

それをまた復活させようという機運が高まり実行委員会を立ち上げ、何度も会合を開き、日時や現役聖高生との調整を重ねてきました。その中で大変だったのが案内告知でした。ありとあらゆる名簿・伝手を頼りに各学年卒業部に声をかけ、ついに本年平成30年1月3日、約50名近くもの参加者が集い「シユータイングの会」は25年ぶりの復活を果たしたのであります。

当日は聖高出身の北國新聞記者の取材を受け、新聞には大きく掲載されま



した。反響も大きく、問い合わせや情報提供も数多くあり、それに手応えを得た私達は、来年バスケットボール部が創立90周年（昭4年創部）を迎えることもあり、実行委員会を、「シユータイングの会」兼「創部90周年記念の催し」として継続し、準備を進めております。

「シユータイングの会」は平成31年1月2日、「創部90周年記念の催し」は同年7月中旬に予定しています。只今名簿を整備し、出来る限り多くの方々にご案内させて頂き、参加を募りたいと考えております。

最後に、少子化の影響で生徒数が減少し今後の部活の存続が難しくなる状況下、我々OBがバスケットボール部の活躍を後押しすることが、本校発展の一助となれば幸いです。



近畿聖高会 第25回総会・懇親会

日時 平成30年9月1日(土)

受付 12時30分

開会 13時~17時30分

場所 ホテルヴィスキオ尼崎(名称がわかりました)

(JR尼崎駅改札口を出て左へすぐ)

詳細は近畿聖高会HPで

ご寄附いただきました

ホームページでもお知らせいたしましたとおり、非常に残念ではございますが、福井聖高会が散会となりました。昨年末に山下修会長をはじめ役員の方々が来校され、散会のご報告と運営資金残金110,000円をご寄附いただきました。

重ねて、東京聖高会から運営資金残金64,500円をご寄附いただきました。

ご報告させていただきます。

また、札幌市在住の小西征夫さん(昭33年卒)から、昨年に引き続き多額のご寄附をいただきました。母校への厚い想いに感謝申し上げます。

皆様からのご寄付は、同窓会の運営に有効に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

お知らせ

平成30年度版大聖寺高校同窓会会員名簿が、名簿作成委託会社(株)サラトより、9月14日に発行予定となっております。

会員の皆さまには、幾度とないお問い合わせにに応じていただき、また情報を提供していただきました。現在も改訂作業中のため、ご提供いただきました郵送先などの情報の行き違いで、本会報が正しくお届けできない場合がございます。ご了承下さい。

次回からは訂正した新名簿のご住所に、お届けいたします。

編集後記

今年度から、新しく編集にかかわらせていただくことになりました。卒業以来、母校からずいぶん長い間遠ざかっておりましたが、お世話になった大好きな聖高に、少しでも恩返しできればという思いであります。

先日、取材で学校を訪問させていただいた際、在学当時マンドリン部の練習で使用していた生物講義室の風景と、楽器の感触が蘇ってきました。学び舎は、思い出が詰まった大きな宝箱ですね。

明るい教室、真剣な眼差しで授業を受けている生徒さんのさわやかな姿が、印象に残りました。

聖高の今、同窓生の活動・活躍をわかりやすく、しっかりとお届けできる紙面づくりに励みたいと思います。(M・W)

同窓生の皆様へ

同窓会・クラス会を開催された方々の記事を募集しています。また、当時の思い出や、同窓会へのご意見をお寄せ下さい。

尚、紙面の都合上、掲載出来ない場合があります。ご了承下さい。

学年・クラス等の同窓会開催のご相談、情報もお待ちしています。

石川県立大聖寺高等学校 同窓会 事務局

〒922-8510

石川県加賀市大聖寺永町33-1 (鴻志館内)

TEL (0761) 73-2771

FAX (0761) 75-7117

月~金曜日(水曜日休)9:00~16:00

E-mail: info@seiko-ob.org

http://seiko-ob.org

学校 TEL (0761) 72-0054

大聖寺高校 同窓会 検索